

業績ハイライト

2019年中間期の決算は、貸出金利息や国債等債券売却益の減少などにより減収となりましたが、経費や与信費用等が減少したため、中間純利益は5年ぶりの増益となりました。

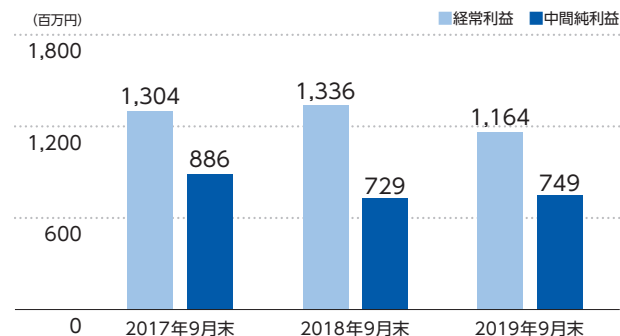
また、貸出金残高が中小企業向け貸出を中心に順調に増加し、中間期として過去最高を更新するなど、業容は順調に推移しました。

自己資本比率は8.27%と国内基準の4%を大きく上回っているほか、不良債権比率も1.13%と、引き続き安全性・健全性ともに高い水準を維持しています。

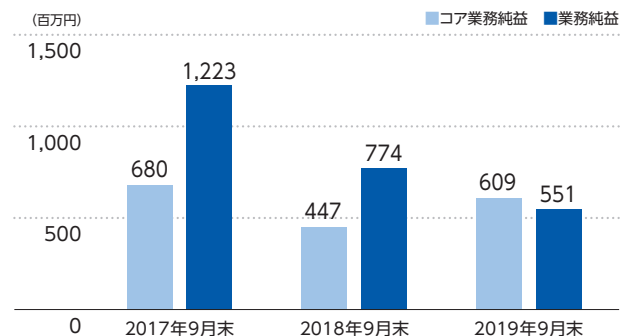
用語解説 コア業務純益

コア業務純益とは、一般企業の営業利益に相当する業務純益から、国債等債券関係損益や一般貸倒引当金繰入額など一時的な変動要因を控除したもので、金融機関の本来業務から得られる利益となります。

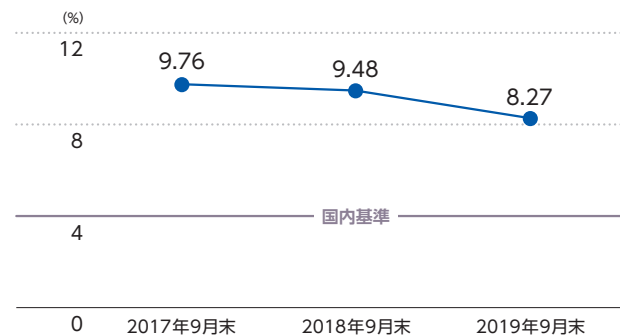
経常利益／中間純利益 (単体)



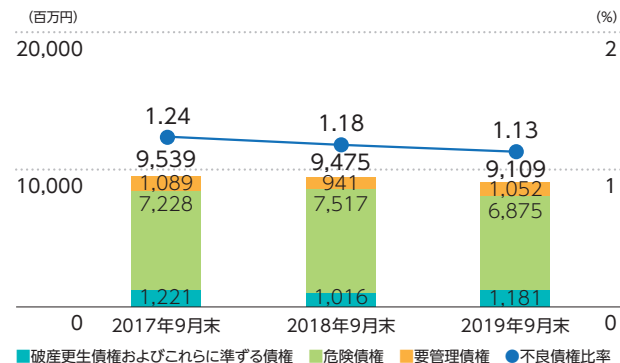
コア業務純益／業務純益



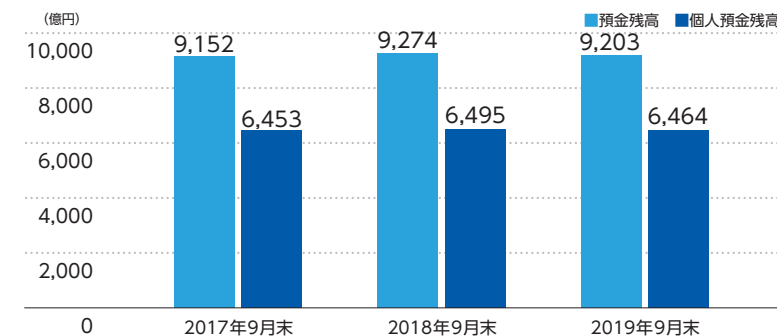
自己資本比率 (単体)



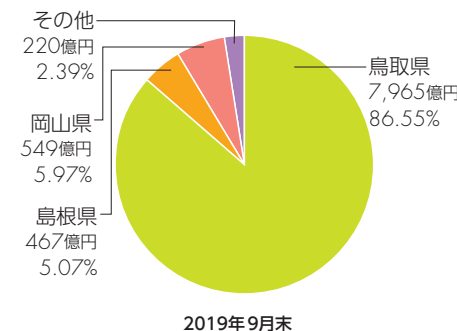
不良債権の状況 (単体) 【金融再生法ベース】



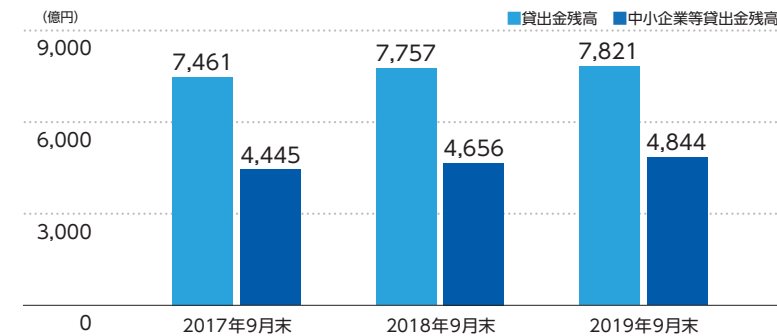
預金残高 (単体)



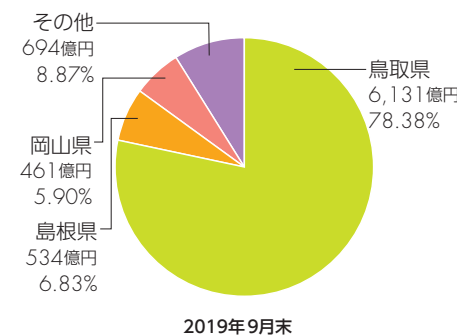
地域別預金残高



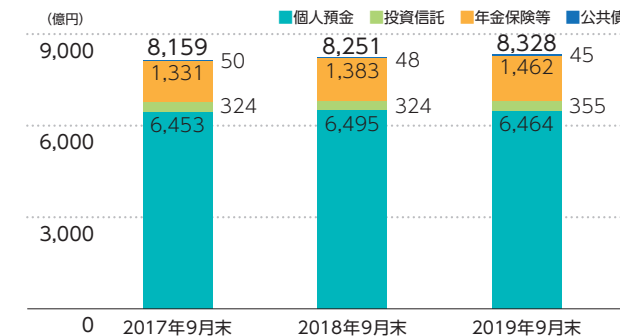
貸出金残高 (単体)



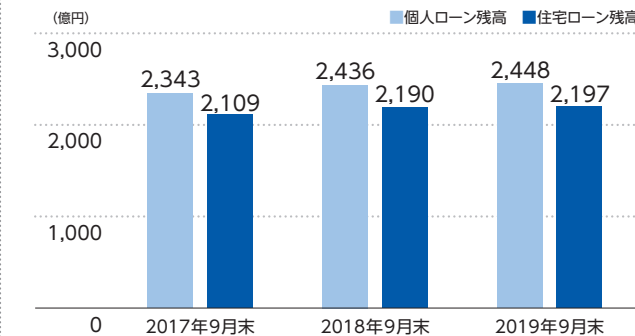
地域別貸出金残高



個人預かり資産残高 (単体)



個人ローン残高 (単体)



中間貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前中間期 (2018年9月30日現在)	当中間期 (2019年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	63,056	58,634
有価証券	131,743	114,467
貸出金	775,755	782,153
外国為替	583	411
その他資産	4,406	11,632
有形固定資産	11,180	10,938
無形固定資産	710	850
前払年金費用	4,593	5,926
繰延税金資産	1,853	1,555
支払承諾見返	8,789	7,798
貸倒引当金	△3,063	△3,162
投資損失引当金	△11	△19
資産の部合計	999,597	991,186
<b>負債の部</b>		
預金	927,437	920,312
コールマネー	61	59
借入金	8,300	5,000
外国為替	—	22
その他負債	4,323	7,136
賞与引当金	479	460
退職給付引当金	1,607	1,563
偶発損失引当金	322	325
睡眠預金払戻損失引当金	27	31
再評価に係る繰延税金負債	608	605
支払承諾	8,789	7,798
負債の部合計	951,957	943,316
<b>純資産の部</b>		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	6,452	6,452
利益剰余金	30,049	30,453
自己株式	△674	△675
株主資本合計	44,889	45,292
その他有価証券評価差額金	1,734	1,569
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	1,015	1,008
評価・換算差額等合計	2,750	2,577
純資産の部合計	47,640	47,870
負債及び純資産の部合計	999,597	991,186

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(単位：百万円)

科目	前中間期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当中間期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
経常収益	7,487	6,922
経常費用	6,150	5,757
経常利益	1,336	1,164
特別損失	127	3
税引前中間純利益	1,208	1,160
法人税、住民税及び事業税	66	131
法人税等調整額	412	279
法人税等合計	478	411
中間純利益	729	749

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要(2019年9月30日現在)

本店所在地	鳥取市永楽温泉町171番地
前身銀行設立	1921年(大正10年)12月15日
創立	1949年(昭和24年)10月1日
資本金	90億円
店舗数	65カ店：県内53カ店、県外12カ店 (その他1事務所)
従業員数	717人
総資産	9,911億円
預金	9,203億円
貸出金	7,821億円



中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前中間期 (2018年9月30日現在)	当中間期 (2019年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	63,056	58,635
有価証券	131,974	114,747
貸出金	775,158	781,493
外国為替	583	411
その他資産	5,832	13,226
有形固定資産	11,182	10,940
無形固定資産	711	856
退職給付に係る資産	7,331	7,828
繰延税金資産	1,010	959
支払承諾見返	8,789	7,798
貸倒引当金	△3,137	△3,238
投資損失引当金	△11	△19
資産の部合計	1,002,480	993,638
<b>負債の部</b>		
預金	927,415	920,301
コールマネー及び売渡手形	61	59
借入金	8,300	5,000
外国為替	—	22
その他負債	4,820	7,726
賞与引当金	482	464
退職給付に係る負債	1,724	1,654
偶発損失引当金	322	325
睡眠預金払戻損失引当金	27	31
販売促進引当金	23	22
再評価に係る繰延税金負債	608	605
支払承諾	8,789	7,798
負債の部合計	952,575	944,011
<b>純資産の部</b>		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	6,452	6,452
利益剰余金	30,271	30,687
自己株式	△674	△676
株主資本合計	45,111	45,525
その他有価証券評価差額金	1,863	1,741
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	1,015	1,008
退職給付に係る調整累計額	1,827	1,260
その他の包括利益累計額合計	4,706	4,010
非支配株主持分	87	91
純資産の部合計	49,904	49,627
負債及び純資産の部合計	1,002,480	993,638

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前中間期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当中間期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
経常収益	7,667	7,114
経常費用	6,323	5,944
経常利益	1,343	1,169
特別損失	127	3
税金等調整前中間純利益	1,215	1,166
法人税、住民税及び事業税	67	133
法人税等調整額	412	280
法人税等合計	479	413
中間純利益	736	752
非支配株主に帰属する中間純利益	1	0
親会社株主に帰属する中間純利益	734	752

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

表紙

これなあに?

大山のたいまつ行列



2019年は秋も特別開催!

中国地方を代表する名峰「大山(だいせん)」では、毎年6月の夏山開きに際して「たいまつ行列」が執り行われています。たいまつ行列では、大神山神社奥宮で登山者の安全を祈願する神事を行ったのち、松明を手に持った人々が1.5Kmの参道を練り歩きます。その荘厳で神秘的な行列を見るため、毎年国内外から多くの観光客が訪れます。

2018年より約1年間、鳥取県西部を中心に開催された「大山開山1300年祭」に合わせ、2019年は特別に秋のたいまつ行列が実施され、1301本の松明が作りだす炎の河が「大山開山1300年祭」の締めくくりを飾りました。

(表紙写真撮影：柄木 孝志)